

3月28日  
中央本部が

## 変革2027を踏まえた 新たなジョブローテーションの実施について 提案を受ける！

### 1. 新たなジョブローテーションの実施

多様な経験を積むことで安全・サービスレベルを向上させることを目的とし、これまでの駅、車掌、運転士の順に養成を行う体系を見直し、以下の通り柔軟な運用とする。

- (1) 車掌試験、運転士試験を廃止する。今後の乗務員への異動は任用の基準に則り取り扱うこととする。
- (2) 車掌を経ずに運転士になることを可能とする。
- (3) 車掌及び運転士の職名を「乗務係」「乗務指導係」「乗務主任」「乗務主務」に統一することとする。
- (4) 駅配属の中途採用社員が乗務員へ異動することを可能とする。
- (5) 同一担務の従事期間が最長でも概ね10年を超えないように異動又は担務変更することとする。

### 2. 車掌試験、運転士試験の取扱い

車掌試験は2018年度（実施済）、運転士試験は2019年度（2019年5月実施予定）、新幹線運転士試験は2018年度（実施済）をもって廃止する。

### 3. ライフサイクルの深度化の見直し

2019年度の異動をもって廃止。

### 4. その他の取扱い

賃金制度の改正を行う。内容については、別途提示する。

### 5. 実施期日

2020年4月1日。

提案を受け危惧されること！

- ◆各系統のプロがいなくなり、専門性や技術・技能の蓄積が現場で養われていかない。
- ◆安全に関する教育・異常時等の対応が弱くなり鉄道の根幹を揺るがす事態となる。
- ◆担務の変更や異動が強制されて、仕事への誇りや働きがいや帰属意識が薄れていく。
- ◆評価に対して敏感・過剰になりチームワークが弱まり現場力が低下する。
- ◆賃金を含む生活条件が現行よりも下回り、将来への生活設計・安心感が持てなくなる。

これらが損なわれ、低下することは「社員の幸福の実現」はもとより、企業の役割・責任に関わる重大な問題だ！職場からの議論を巻き起こし、労働組合の立場・見解を明確にしていこう！東京地本は課題に真正面から向き合い、未来に向かって議論・実践していきます！

## 東労組に結集し、共に声をあげてたたかっていこう！